二次公募決定　導入費の２／３を補助　ＩＴ導入支援事業

施工管理システム・除雪向けタコグラフ自動解析ソフト

ソフトウェア開発の株式会社ワイズ（本社：長野市）は、同社が販売する施工管理システムおよび建設機械タコグラフチャート紙自動解析ソフトの導入費３分の２が補助される事業の二次公募の開始を発表した。

補助金は、平成２８年度第２次補正予算措置に伴う、中小企業・小規模事業者等を対象とした「サービス等生産性向上ＩＴ導入支援事業」の認定によるもの。経産省・中小企業庁より、ＩＴツール（ソフトウェア・サービス等）の導入経費３分の２以下にあたる２０万円以上１００万円以下の範囲で補助され、今回は二次公募となる。

申請期限は６月３０日まで。審査で交付が決定される事業者に対し、その後導入したＩＴツールが補助対象に。予算額は一次公募での交付決定分を含め１００億円。なお、同社申請期限は６月２７日。

補助対象ツールのうち、建設機械タコグラフチャート紙自動解析ソフト「タコグラフマネージャ」（ＮＥＴＩＳ製品）は、目視・手作業で行われていたアナログタコグラフチャート紙の解析作業を自動化。同社による実証実験では、チャート紙の解析から運転日報作成までの一連の作業時間を、従来比４分の１まで削減する。

同ソフトのトラック業者向けシステムも補助金対象。厚労省「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」（改善基準告示）の適否判定機能を有する。

また、施工管理システム「ＱｕｉｃｋＰｒｏｊｅｃｔシリーズ」のうち、工事写真管理システム『フォトマネージャ』をはじめ、３次元設計データ作成システム『情報化施工マネージャ』電子納品、出来形書類作成等は、３０万円以上のセット導入時に補助対象となる。

申請方法の詳細については同社（ＴＥＬ：０２６-２６６-０７１０） 西澤まで。